

平成22年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 757

所管部局	教育委員会	所管課	社会教育課	担当者名	前田・山下
事業名	団体育成事業			事業分類	ソフト事業
細事業名	団体育成事業			政策体系	132
会計	一般会計	科目	10.教育 - 6.保健 - 1.保健		

1. 事業の概要

南丹市社会教育関係団体に対する補助金交付要綱に基づき、予算の範囲内において補助金を交付する。

2. 事業の目的と必要性

①施策で目指す目標との関連付け

生涯学習推進組織の育成強化、地域スポーツ、競技スポーツ、青少年スポーツ（スポーツ少年団）の振興により、地域の担い手、将来の人材育成を図り、競技力の向上・地域交流・健康増進に寄与する。

②事業を実施する必要性

社会体育団体の円滑、かつ効果的なスポーツ振興の活動支援のため

3. 事業費の推移

		単位	平18決算	平19決算	平20決算	平21決算	平22予算	平23計画	平24計画
決算額または計画額		千円	7,779	5,302	3,853	3,787	3,440	3,750	3,750
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等		千円	0	0	0	0	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円	0	0	0	0	0	0	0
	国・府支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	7,779	5,302	3,853	3,787	3,440	3,750	3,750
職員等の従事人員		人/年	—	—	0.36	0.35			
人件費		千円	—	—	2,742	2,037			
事業費総額		千円	—	—	6,595	5,824			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。
※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

4. 主な事業費の内訳

負担金		
・海洋センター連絡協議会負担金	40,000円	
補助金		
・南丹市体育協会	2,800,000円	
・南丹市スポーツ少年団	910,000円	

5. 事業結果の概要

B & G 海洋センター事業
 ・親と子のふれあいキャンプ
 体育協会
 各支部主催事業
 府民総体選考会他
 スポーツ少年団
 31単位団、団員数711人

6. 活動の詳細

活 動 内 容	活動日又は時期	活 動 結 果 等
(1) 負担金		
●京都府地域海洋センター連絡協議会負担金 構成センター数 6 海洋センター	通年	
●近畿ブロック海洋センター連絡協議会負担金 構成 センター数 4 7 海洋センター	通年	
(2) 補助金		
●南丹市体育協会補助金 組織構成 市体育協会及び傘下の4支部（園部支部、八木支部、日吉支部、美山支部）・競技団体17競技団体に構成 事業 ・府民総体市選考会・予選大会を主催事業として開催・各支部・競技団体で春季・夏季・秋季大会、市民交流大会、講習会等を開催・地域体育振興会、総合が他地域スポーツクラブ、各自治会でのスポーツ行事の開催	通年	
●南丹市スポーツ少年団補助金 組織構成31単位団（園部17、八木5、日吉4、美山5） 団員：男子549名 女子162名 指導者175名 合計886名	通年	
(3) 関連事業		
B & G「親子のふれあいキャンプ」 会場：美山自然文化村 キャンプ場 対象：小学生の子どもと親 講師：小野田寛郎（小野田自然塾理事長）	9月5日～6日	参加 4組10人

7. 所属長評価〔平成20年度から改善した点、今後の展開など〕

体育協会（支部）やスポーツ少年団による競技大会や府民総体への積極的参加と、競技力向上を目指す取り組みができた。
市民にスポーツの楽しさを浸透し、市民交流と健康増進を図る。団体による「ささえるスポーツ」の充実
市民参加さらなる充実と団体の運営育成が課題である。

【参考】過年度の評価

■平成21年度の所属長評価

- ①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点
体育協会（支部）やスポーツ少年団による競技大会や府民総体への積極的参加と、競技力向上を目指す。
- ②当該事業のアピール事項
市民にスポーツの楽しさを浸透し、市民交流と健康増進を図る。団体による「ささえるスポーツ」の充実
- ③反省点、今後の展開・方向性等
市民参加さらなる充実と団体の運営育成が課題である。